

高知県拠点（四万十町）



トマト



木質バイオ

- おが粉を利用した、大型木質バイオマスボイラーの導入により、化石燃料の使用量を削減。
- 隣接する農業担い手育成センターと連携し、拠点の成果を農業者に普及。



コンソーシアム名及び構成員

名称	高知県次世代施設園芸団地推進協議会
構成員	(有)四万十みはら菜園、(株)ベストグローウ、四万十とまと(株)、四万十あおぞらファーム(株)、(株)曉産業、四万十町森林組合、JA 四万十、高知県園芸農業協同組合連合会、高知大学、高知工科大学、高知県（普及・試験・研修組織含む）、四万十町

品目	面積	目標収量（単収）
トマト	4.3ha	1,651t（38.4t/10a）

区分	事業実施概要
拠点整備	①温室、②木質バイオマスボイラー、③種苗生産施設、④集出荷施設 を整備
技術実証	①複合環境制御（CO ₂ 発生装置、細霧装置等）による高品質・高収量技術の実証 ②高所作業車、養液栽培装置の活用による生産コスト削減のための栽培実証 等
その他取組	①技術・経営セミナー等による技術習得、②実需者のニーズに合わせた安定出荷販売 等



高軒高ハウス（外観）



高軒高ハウス内（トマト）



木質バイオマスボイラー